

生態系に配慮した、 森林資源の利用と保全の為の実証的研究 (「環境林業」実践のための実証的研究)

〒939-2513
富山県南砺市利賀村上百瀬537
電話:0744-54-2647
E-mail:moribio@hotmail.co.jp
<http://www.moribio.com>



ひろげる助成

2年目

調査研究



伝統的な運搬方法(クロモジ茶を作る!!)

環境林業実践面積

5ha

人材育成プログラム参加者

70人

今年度計画の達成度

70%

活動の全体目標に対する
達成度

40%

課題

林業等においては、森林生態系への適切な配慮がないまま、大規模に(年間約50万haの間伐等)実施されており、森林生態系の保全と持続的利用のためのルール作りが課題。

目標

生態系に配慮した森林資源の持続的な保全と利用の手法である「環境林業」を基盤とする、持続可能な地域社会のモデルを形成する。

活動内容と成果

生態系に配慮し、森林資源を保全・利用する「環境林業」を試行、「森林資源の保全と利用のための手順」を発展的に修正するべく活動を実施。具体的には、富山県南砺市利賀村上島地区の更新伐作業において、現況を把握するた

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

目指す「環境林業」のかなめである「現況把握、明確な目標、効果の評価」を、日常的な林業のスケジュール内で実施する難しさを痛感。

■ 工夫した点

岐阜や奈良をはじめ多くの地域で広葉樹をはじめ、天然更新を模索する林業への新たな取組みが始まっており、情報共有に努めた。



めの事前調査や、これに基づく作業方針を検討し、具体的な更新目標を持って作業を実施した。(更新伐作業は、従来、明確な目標林型を設定せずに作業される事例が多く、一般的には事後の評価も行われない)事業実施にあたり、水域から30m程度の水辺域と急峻地を作業エリアから除外し、保全した。



TOGA森の暮らし塾(冬編)の参加者

今後の展望

今年度実施した更新伐施業地等において、更新状況等をモニタリング、「環境林業」の効果を評価し、作業手順等を改善。同時に、企業・住民にその意義を分かりやすく伝え、「環境林業」を支える仕組みづくりにつなげる。